

血液がん

～より良い治療とより良い治癒～



日時 2014年10月26日(日) 13時～17時
会場 カレッジプラザ

資料代
1人 1,000円
医療・看護系学生は
無料です

協賛 NPO法人日本臨床研究支援ユニット(J-RSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、
JCRSU-JPOP事務局

血液のがんは、病気本体も治療法も複雑でわかりにくくまた治療期間が長い疾患です。「同じ血液の病気でも自分とは病名のちがう疾病」と「自分では受けないかも知れない治療法」についてもこの機会に聴いてください。ほかの病名やいろいろな治療法の概略を理解することも、自身の病気を深く知る上で、さらにより良い治療選択をする上でとてもよい参考になります。

また治療で時に発生するかもしれない皮膚の変色や変化ですが、暮らしに戻るにあたって意外にQOLを下げていることに気づくこともあります。カバーメイクでのQOLの変化についてまず講演でお聴きし、分科会では実際にカバーメイクの仕方を学びます。

第2部はそれぞれの疾患のグループにわかれ、専門医を交えてご自身の病気治療の進歩を共有し、同じ疾患の方々と交流します。さらに、寄せられた質問へのアドバイスを皆で共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。第3部では、より良い治療に欠かせない口腔ケアについて、また近年増えている外来での化学療法について専門家のアドバイスを聴きます。

講演を聴いて質問が湧けば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出し、疑問「解決の1日」としてください。

座長 中通総合病院 渡辺 新 先生

総合司会 つばさ 橋本 明子 / 募る会 菅 早苗

I 全体会(1)

血液、血液がん、最新の治療について基本的な知識をもとう

多岐に渡る血液がん(造血器腫瘍)がなぜ起こるのか、治療の目標をどのように設定するのか、目標達成のための治療法はどのように選択するのか、どのような選択肢(現状での治療と期待される新たな治療)があるのか、わかり易くかつエンターテインングに説明をします。

慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎 先生

カバーメイクが高める、がん治療後のQOL

手術、化学療法、造血細胞移植などで時に皮膚の変化や変色が発生します。がんばって乗り越えた治療だからこそ、第三者の視線を気にせず温泉に入り、プールに行き、おしゃれもしたい…。カバーメイクが生み出すQOL向上について聴きます。

東京大学医学部部附属病院 乳腺内分泌外科 分田 貴子 先生

II 疾患別Q&A分科会 —各分科会同時進行—

※分科会司会者は各疾患々者会などから

- ◎骨髄性腫瘍(骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病)
講師 秋田大学医学部附属病院 藤島 直仁 先生
- ◎多発性骨髄腫
講師 秋田大学医学部附属病院 奈良 美保 先生
- ◎骨髄増殖性腫瘍
(慢性骨髄性白血病、真性多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症等)
講師 秋田大学医学部附属病院 高橋 直人 先生

- ◎リンパ性腫瘍(悪性リンパ腫、急性および慢性リンパ性白血病等)
講師 秋田大学医学部附属病院 亀岡 吉弘 先生
- ◎カバーメイク・実演
講師 東京大学医学部部附属病院 分田 貴子 先生
- ◎小児科～若年成人 診断時から始まる長期フォローアップ
講師 中通総合病院 渡辺 新 先生

III 全体会(2) —暮らながらの血液がん闘病と暮らし

治療継続中の口腔ケア(20分)

近年は、患者さんの口腔内がほんとうに綺麗なまま治療が進みます。口腔ケアは治療中の気分も左右しますし、その対処法は家族にとっても参考にしたい事です。

講師 秋田大学医学部附属病院 歯科口腔外科 福田 雅幸 先生

通院での化学療法と暮らし(20分)

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅で問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法や、外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスを聴きます。

講師 秋田大学医学部附属病院 外来化学療法室 進藤 菜穂美 先生

共に考えるより良い治療とより良い治癒—講師全員による会場全体とのQ&A

その日の代表的な質問にご参集の講師陣からご意見・アドバイスをいただき、参加者全体で共有します。

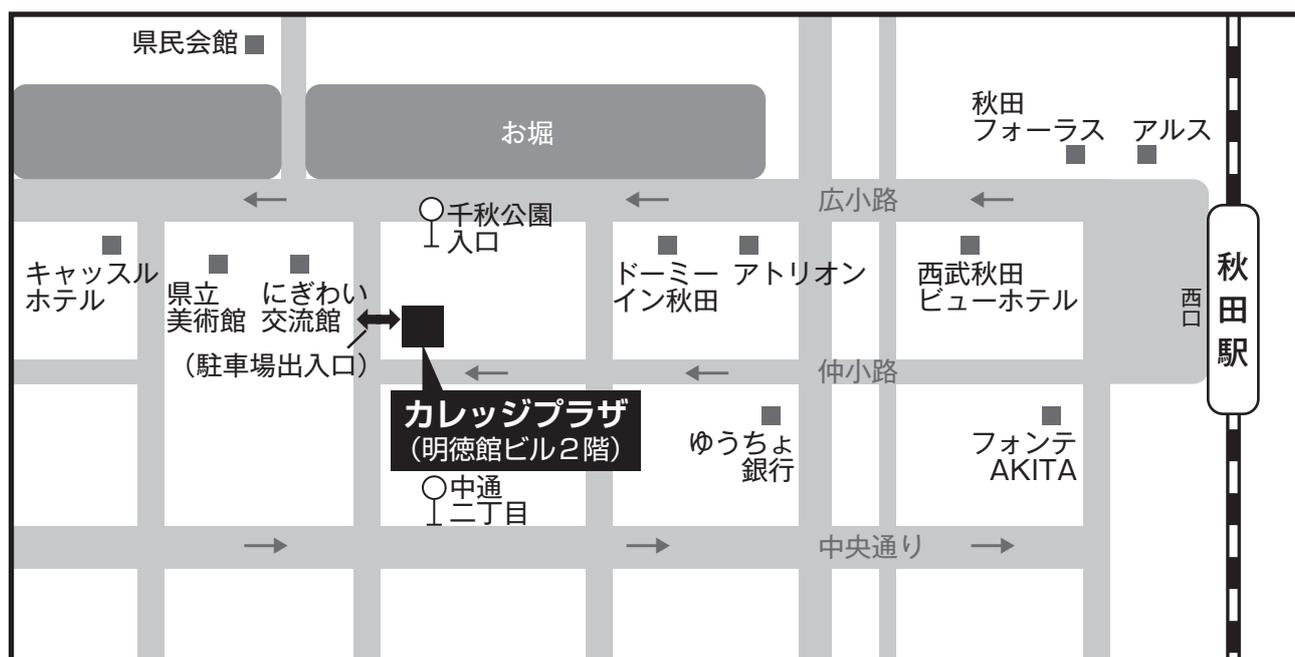
事前に血液がんの治療についてのご相談を受け付けます。詳細は裏面に

主催：NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503(月～金 12時～17時)

後援：公益財団法人 日本骨髄バンク

会場案内図／カレッジプラザ

住所：〒010-0001 秋田市中通2丁目 1-51 明德館ビル2階 TEL 018-825-5455



事前質問、カバーメイクの受付

○A4以下の紙1枚に、下記の①～⑤を書いて送って下さい。(締め切りは10月20日必着)

FAX送付の場合 03-3203-2570

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533
早稲田大学前郵便局々留
NPO法人血液情報広場・つばさ

- ①参加会場名(例、秋田フォーラム)
- ②病名
- ③患者さんの性別と年齢
- ④ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。用紙は1枚のみ。
病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。
- ⑤ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)
ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。
- ⑥カバーメイク申し込み
患者さん名 疾患名(性別、年齢を問いません。温泉対策、プール対策など、ご自由に)

広報、分科会司会等のご協力団体(いつも本当にありがとうございます)

・NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)	http://www.crsu.org/
・NPO法人白血病研究基金を育てる会	http://www.flrf.gr.jp/
・JCRSU・がん電話相談センター	http://www.crsu.org/jcrsu/sevices/cc.html
・慢性骨髄性白血病(CML)患者・家族連絡会「いずみの会」	http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/
・日本骨髄腫患者の会	http://www.myeloma.gr.jp/
・骨髄異形成症候群MDS連絡会	http://www.geocities.jp/mdsrenraku/
・NPO法人ライフボート	http://www.lifeboat-jp.net/
・院内患者会世話人連絡協議会(HosPAC)	http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm
・NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ	http://www.millefeuille.or.jp/
・骨髄増殖性腫瘍患者・家族会MPN-JAPAN	http://www.mpdnetjapan.org/
・NPO法人血液患者コミュニティーももの木	http://www.rakkan.net/

NPO法人つばさ 賛助企業

プリストル・マイヤーズ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、日本新薬株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、セルジーン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、中外製薬株式会社、株式会社ヤクルト本社、富士フィルムRIファーマ株式会社、富士製薬工業株式会社、マーシュフィールド株式会社